

2006年度秋季総会議事録

日 時：2006年9月20日(水)17:00～18:10

場 所：九州国際大学 2号館2階(C会場)

議事に先立ち出席者の確認がなされた。事前投票総数(会場参加者との重複は除く)は406名、会場参加は138名である。出席者のうちで事前投票をしたものは、事前投票の方を無効とした。有効出席者総数は544名で、定足数(正会員総数1,703名の5分の1=341名)を満たしていることを確認した。

次に署名人として富阪幸治氏、徂徠和夫氏が選出された。

議事の経過および結果

1. 花岡理事が資料に基づき、2007～2008年度新役員(理事・監事)候補案の説明を行った(第1号議案)。
2. 花岡理事が資料に基づき、2007～2008年度新選挙管理委員候補案の説明を行った(第2号議案)。
3. 花岡理事が資料に基づき、2007年度事業計画案の説明を行った(第3号議案)後、質疑応答が行われた。
4. 北本理事が資料に基づき2007年度収支予算案の説明を行った(第4号議案)後、質疑応答が行われた。
5. 第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案は各々賛成多数で承認された。

報告事項等

1. 100年史編纂委員の増員
花岡理事が、谷口義明氏(愛媛大学)を100年史編纂委員に加え、全体で12名としたことについて報告を行った。
2. 男女共同参画委員会に関する内規及び委員
花岡理事が、新しい小委員会として男女共同参画委員会を組織したことについて報告を行った。
3. 2007～2008年度各種委員会委員
花岡理事が、2007～2008年度を任期とする各種委員会の委員について報告を行った。
4. Asian-Pacific Journal について
祖父江理事長から、新しい天文学術雑誌として刊行が計画されている Asian-Pacific Journal について、会員へのアンケートの結果及び天文学会としての対応について報告がされた。今後PASJを発展させる議論を行っていく、会員にも積極的な協力を求めたい、との発言があった。
5. 創立100周年記念出版の進捗状況について
創立100周年記念出版事業編集委員会の岡村委員長より、記念出版の進捗状況について報告がされた。原稿についてはかなりの集まり具合ではあるものの、予定通りの出版にはまだ多大な努力を要する状況である、是非協力をお願いしたい、との発言があった。
6. その他
 - (1)宇宙科学プログラムの将来計画検討について
JAXA宇宙科学研究本部の井上本部長より、JAXAを中心とした宇宙科学プログラムの将来計画検討の状況について説明があり、天文学会員にも議論への積極的な参加をお願いする、との発言があった。
 - (2)学術会議からの報告(太陽系の惑星の定義に関する報告も含む)
海部評議員より学術会議および天文関連の分科会・IAU・世界天文年等についての状況について報告があり、また太陽系の惑星定義について日本国内での対応のため太陽系天体の和名等に関する小委員会を組織することが報告され、合わせて祖父江理事長より学会内でも対応する懇談会を組織する予定であることが報告された。
 - (3)天文教育普及研究会より
天文教育普及研究会の松村会長より、新たな「惑星の定義」を教育現場において積極的に活用していく

よう要望すること、天文教育施設に対する指定管理者制度導入の問題点について声明を出したこと、について発言があった。

2006年10月10日

議 長 祖父江義明

署名人 富阪 幸治

署名人 徂徠 和夫